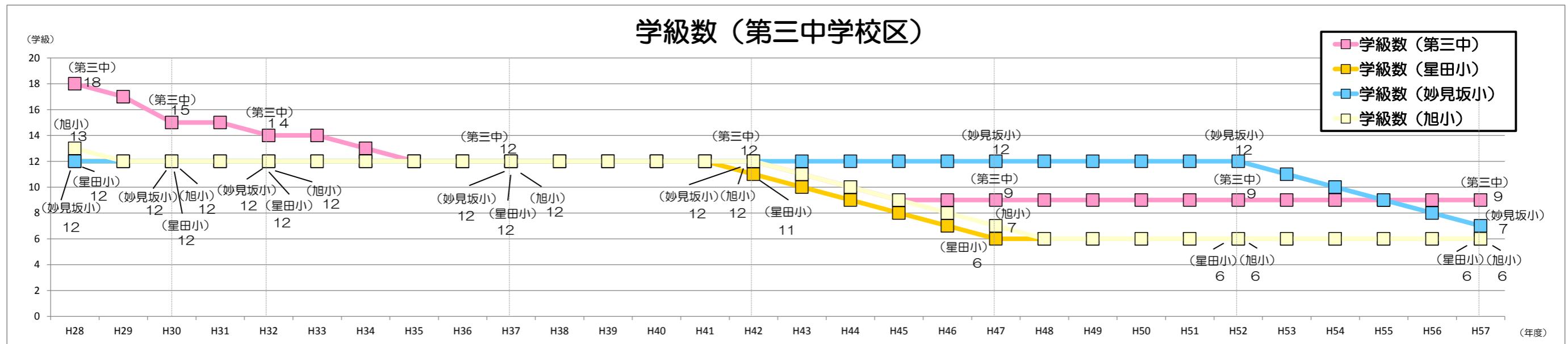
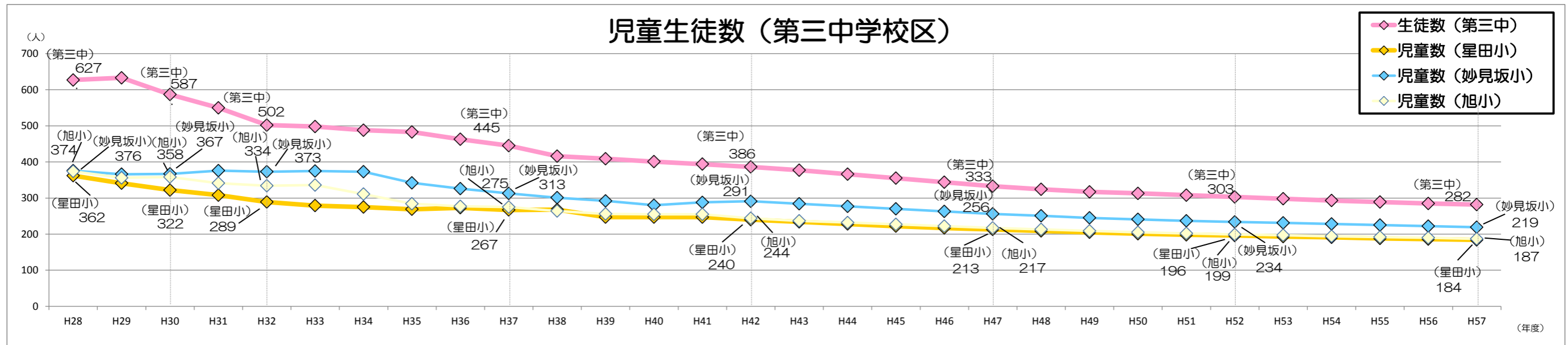


第三中学校区の現状資料

第三中学校区の児童生徒数・学級数

H30.5時点



	年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57
第三中学校	生徒数	627	633	587	550	502	498	488	483	463	445	416	409	401	394	386	377	366	355	344	333	324	317	313	308	303	298	293	289	285	282
	学級数	18	17	15	15	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
星田小学校	児童数	362	341	322	308	289	279	275	269	273	267	268	247	247	247	240	234	228	222	217	213	209	205	201	198	196	193	191	188	186	184
	学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
妙見坂小学校	児童数	376	366	367	376	373	375	373	342	326	313	301	292	280	288	291	284	277	270	263	256	251	245	241	237	234	231	228	225	222	219
	学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7
旭小学校	児童数	374	356	358	341	334	336	311	284	277	275	264	256	255	255	244	237	232	227	222	217	213	209	205	202	199	197	194	192	190	187
	学級数	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

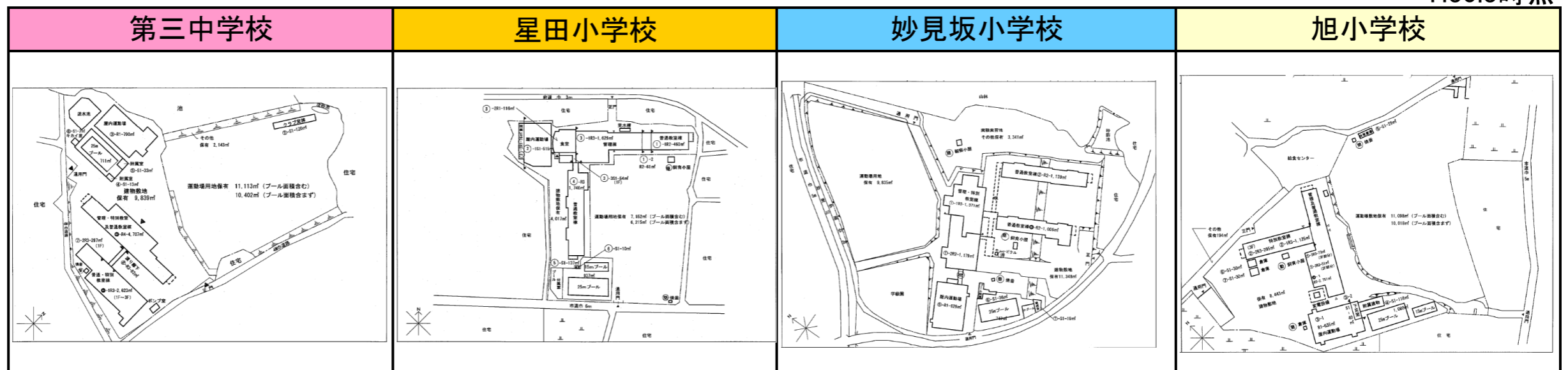
※H28～H30については、各年5月1日の実数
 ※児童生徒数には、支援学級児童生徒数含む。
 ※学級数には支援学級数を含まない。

学校規模適正化基本方針 (望ましい学校規模について)

	小規模	適正規模
小学校	11学級以下	12学級以上24学級以下 (1学年あたり2～4学級)
中学校	8学級以下	9学級以上18学級以下 (19学級以上24学級以下も許容範囲とする)

第三中学校区の学校施設

H30.3時点



		第三中学校	星田小学校	妙見坂小学校	旭小学校
敷地面積		23,095m ²	11,169m ²	25,271m ²	19,735m ² (第三給食センター跡地1,322m ² あり)
運動場面積		11,113m ²	7,152m ²	10,582m ²	11,098m ²
延床面積		8,788m ²	4,916m ²	5,862m ²	5,200m ²
建築年度	校舎※1	1974(S49)年 (建築後44年)	1961(S36)年 (建築後58年)	1973(S48)年 (建築後45年)	1976(S51)年 (建築後42年)
	体育館	1975(S50)年 (建築後43年)	1966(S41)年 (建築後52年)	1974(S49)年 (建築後44年)	1977(S52)年 (建築後41年)
長寿命化判定	校舎	○	○	○	○
	体育館	×	○	×	×
長寿命化した場合の残存年数	校舎	36年 (建替時期:平成66年)	23年 (建替時期:平成53年)	35年 (建替時期:平成65年)	38年 (建替時期:平成68年)
	体育館	—	28年 (建替時期:平成58年)	—	—
健全度評価※2	校舎	60	35	70	67
	体育館	100	92	31	30

※1 校舎の建築年度は棟別に異なるため、延床面積1,000m²以上の棟のうち、もっとも古い棟の建築年度を記載している。

※2 健全度評価は、各棟で②の部位ごとに、①の種別で評価し、③の式で健全度を評価。

※3 校舎の健全度評価は、下の式にて算出。

$$\frac{\{面積_{(棟1)} \times 健全度_{(棟1)} + \dots + 面積_{(棟n)} \times 健全度_{(棟n)}\}}{面積_{(棟1 + \dots + 棟n)}} = 校舎の健全度$$

①部位の健全度

評価	健全度
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	7.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 給排水設備	6.0
6 空調設備	1.0
7 昇降機その他	0.5
計	60.0

③健全度

$$\frac{\text{総和(部位の健全度} \times \text{部位のコスト配分)}}{\text{評価対象部位がオールAの点数}}$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が大きいほど健全、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

A: 概ね良好

B: 安全上、機能上、問題なし

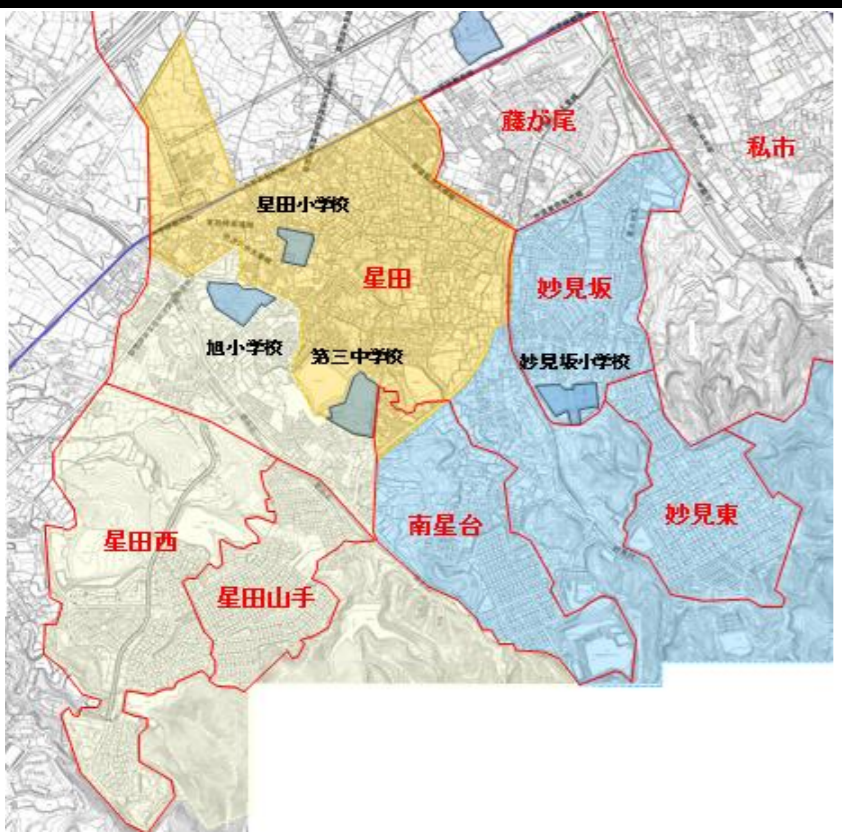
C: 安全上、機能上、劣化の兆しが見られる

D: 劣化の程度が大きく、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある

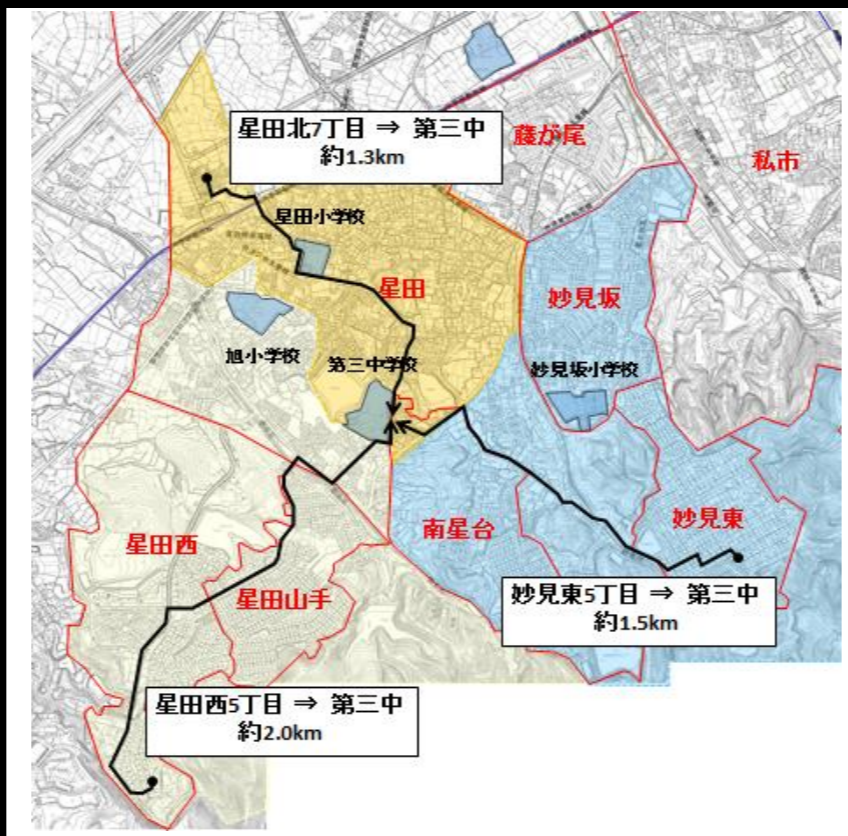
第三中学校区の地区・校区・通学距離

H30.3時点

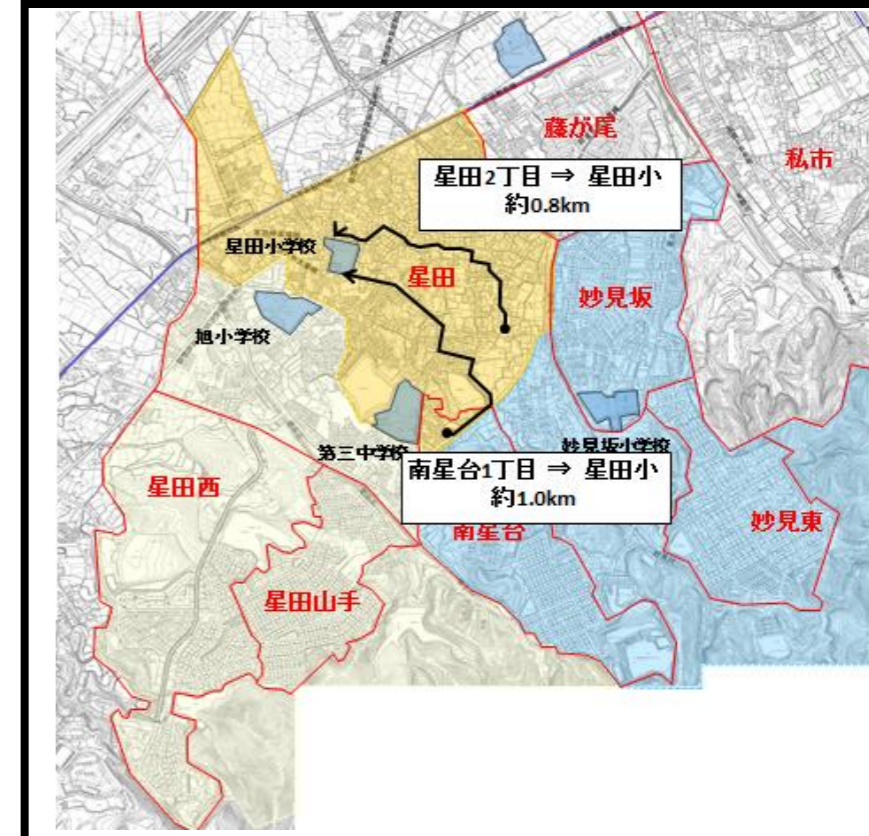
(1) 第三中学校区の地区図・小学校区図



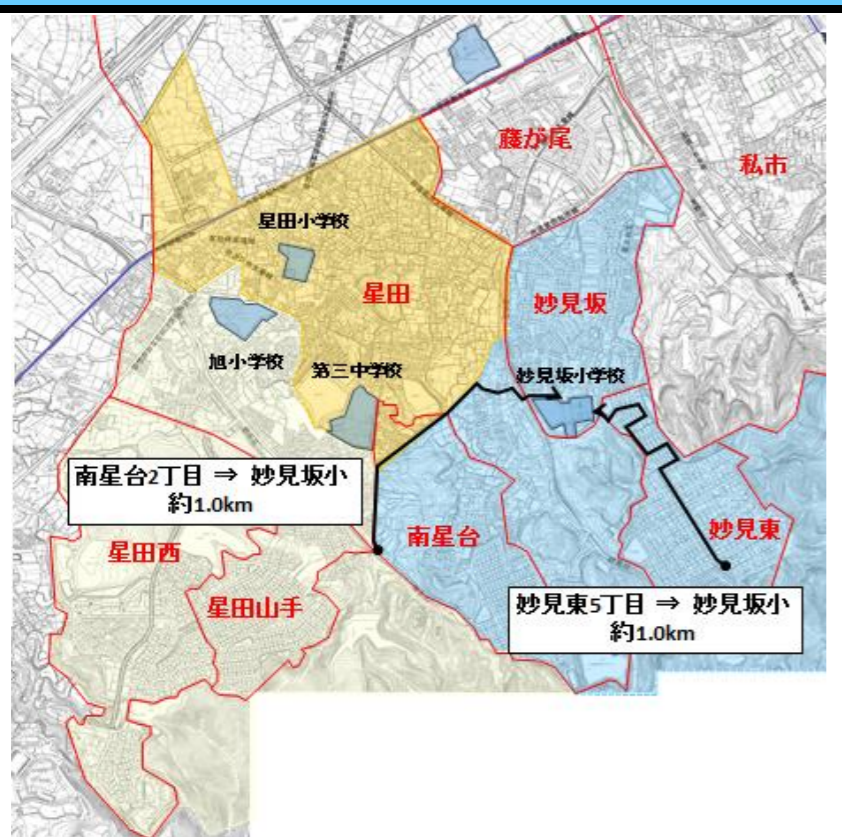
(2) 第三中学校への通学距離



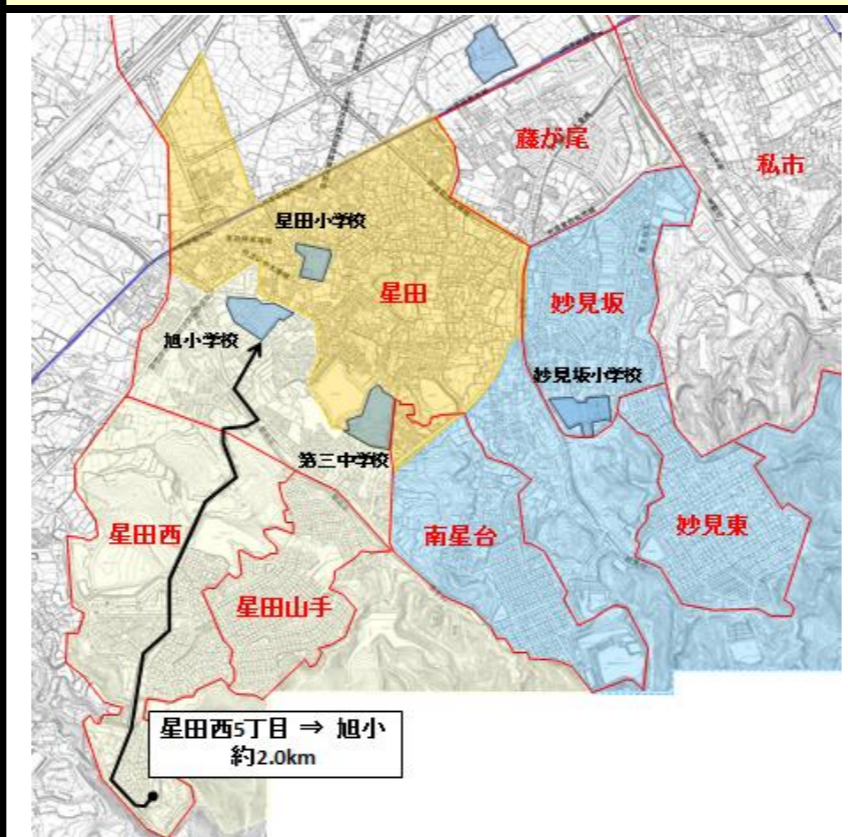
(3) 星田小学校への通学距離



(4) 妙見坂小学校への通学距離



(5) 旭小学校への通学距離



【地域の課題】

星田地区…星田北7丁目を除く、星田北地域は藤が尾小学校区(第四中学校区)であるなど、4小学校区、2中学校区にまたがっている。
南星台地区…大部分は妙見坂小学校区であるが、一部星田小学校区であり、2小学校区にまたがっている。

学校規模適正化基本方針 (望ましい通学距離について)

小学校	2km以内を基本とし、3km以内を許容範囲
中学校	3km以内を基本とし、4km以内を許容範囲